

輸出事業計画

申請者名：社会福祉法人 南高愛隣会、

品目：乾麺（素麺、うどん、ちゃんぽん、ラーメン）

1. 輸出における現状と課題

社会福祉法人「南高愛隣会」は長崎県雲仙市にある福祉事業所の製麺工場（就労継続支援A型）で、障がいのある約40名の利用者と職員で麺商品を製造している。地場産業である島原手延べ素麺の製造が主体で製造品目は、素麺・ラーメン・うどん・ちゃんぽんである。麺の熟成を重視した独自の手延べ製法により特徴のある個性豊かな商品群を揃えている。これまで、手延べ素麺・うどん・ラーメンをフィリピン、シンガポール、香港、台湾へ輸出している。

（加工・製造）

- ・販路拡大を進めるためには、現在の施設・設備では想定する需要に対応できない。また大手取引先からは、ISO22000（アメリカではFSMAの要求事項「米国食品安全強化法」）の認証を求められている。

（販売）

- ・輸出商社を通して流通販売してきたが、商社手数料が大きいと、最終利益が手薄となり採算面が課題となっている。

（流通）

- ・現在のHACCP認証では大手スーパーとは取引できないため新たに輸出商社よりISO22000の認証取得の要請を受けた。

2. 輸出事業計画の取組内容

（加工・製造）

- ・新たに新工場の建設を計画しているため認証取得のためのソフト対策として専門家の指導（ISO22000審査員補の資格を持ったコンサルタント）を受け適切な対応を令和8年3月までに行う。最新の加工技術や機器を導入し、効率的な生産を実現し、特に手延べ素麺の特性を活かした生産・加工方法を模索していく。
- ・オーガニック商品の開発を強化し台湾市場のニーズに適したラインナップを拡充する。現地の消費者嗜好を調査し、味や食感にこだわった商品を展開することで、競争力のある商品開発を進める。また、忙しい消費者に向けた手軽に摂取できる健康食品を開発し、利便性と栄養価のバランスを重視した製品を提供する。

（販売）

- ・新規に輸出商社のより一括（市場調査や販路開拓含む）で現地スーパーや小売店等に卸してもらうためコストも下がり、利益が見込める予定となる。

（流通）

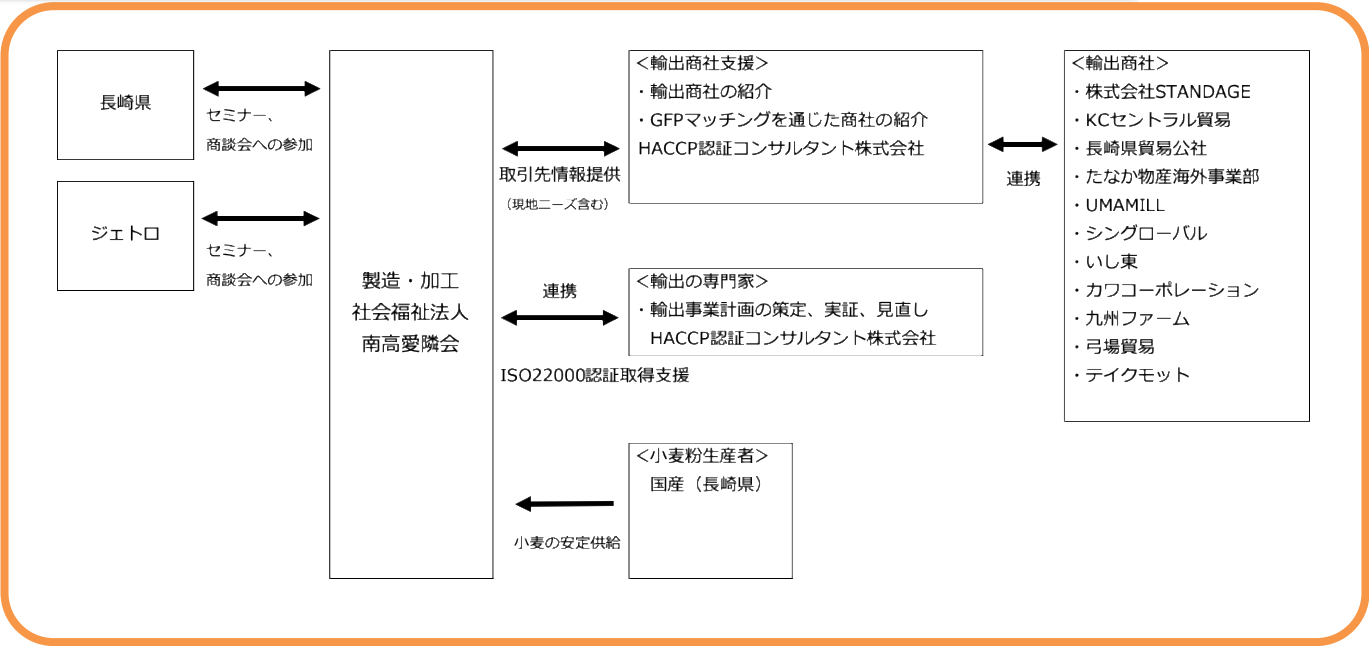
- ・各国の輸入規制（米国はFSMAの要求事項（アレルギー管理、サニテーション管理、サプライヤー管理、プロセス管理など）に対応する必要があるため、令和6年度農林水産物・食品輸出促進緊急対策事業のうち食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備緊急対策事業）を活用し、輸出の専門家のアドバイスを受け、施設の新設、新規加工製造機器の選定及び導入を行い、令和8年8月までにISO22000認証を取得する。

輸出事業計画

申請者名：社会福祉法人 南高愛隣会、

品目：乾麺（素麺、うどん、ラーメン、ちゃんぽん）

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

※輸出先国と輸出する農林水産物・食品の現状及び目標金額を記載すること

素麺・うどん・ラーメン・ちゃんぽん	現状 (令和5年度)	目標 (令和12年度)
輸出額（千円）	462	90,000
輸出量(t)	0.556	77
輸出先国	フィリピン、シンガポール、香港、台湾	アメリカ、フィリピン、シンガポール、香港、台湾、インド